

28 耳鼻咽喉科

特殊(専門)疾患

①耳疾患：急性中耳炎、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、滲出性中耳炎、耳硬化症、外リンパ瘻、突発性難聴、めまい症(良性発作性頭位めまい症、メニエール病、前庭神経炎)、小児難聴、機能的難聴 ②鼻疾患：慢性副鼻腔炎、急性副鼻腔炎、アレルギー性鼻

炎、鼻出血、嗅覚障害 ③口腔・咽頭疾患：扁桃炎、咽頭炎、睡眠時無呼吸症候群、味覚障害、嚥下障害 ④喉頭疾患：急性喉頭炎、声帯ポリープ、⑤音声・言語疾患：発声・音声障害、言語発達障害 ⑥唾液腺疾患：シェーグレン症候群、唾石症

診療内容

耳鼻咽喉科は体内への外界からの入口の異常を見つけて治し、体の調子と人間の暮らしをより良くし、体の健康を守る門番です。耳は音の入口、鼻は大気においの入口、口とのは生きていく上で欠かせない食物の入口です。音のない世界では人や外界とのコミュニケーションが取れないだけではなく、危険にもさらされます。においと味のない暮らしはまさに味気ないもので、生活の質が著しく低下します。のどは食べ物と外界の空気が入り、声を出すという、生命の神秘とも言える1秒以下の巧みな働きで出し入れをしています。この機構が崩れ、食べ物や水がのどから肺に入ると、人間はたちまち肺炎となり健康を害します。平均寿命が延びるとともに、誤嚥性肺炎で亡くなる方が増えています。同時に鼻やのどは、外界の細菌やウイルスなどの人体にとっての敵と戦う場でもあります。風邪をひくとのが痛くなり鼻がつまるのは、外敵に対して鼻やのどが体を守っているためです。新型コロナウイルス感染症では、最初に嗅覚・味覚障害が現われます。耳鼻咽喉科は、これらの防御機能の働きを監視し、異常を治し、より良い状態を保つことにより、体の健康を保ち、苦痛を取り除き、潤い豊かな良質の暮らしを維持することを使命として、診療にあたっています。

特徴・特色

- ① 嗅覚・味覚外来：嗅覚と味覚は、人間が毎日、美味しく食べたり飲んだりするのに不可欠な感覚です。意外なことに、全国的に嗅覚・味覚外来を設けている病院は数えるほどしかありません。耳鼻咽喉科では、来院されたその日に、内視鏡検査、CT検査、嗅覚・味覚検査を実施し、原則、その日のうちに治療方針を立てて治療を開始します。従いまして、全国から嗅覚障害、味覚障害の患者さんが来院されても当日の対応が可能です。
- ② メディカル・スタッフとの緊密な連携：耳鼻咽喉科という体の中では狭い範囲ではありますが、多種多様な機能を持つ部位を診察し、治療するには、高度な知識と技術を持ち合わせた、医師、看護師、検査技師、言語聴覚士、放射線技師、栄養士、ソーシャルワーカーなどのメディカル・スタッフとの緊密な連携が必要です。当科ではすぐにお互いに声の届くところにメディカル・スタッフが配置され、高度の医療にあたっています。
- ③ 最先端の手術：当科では、内視鏡、ナビゲーションシステムなど、最先端の機器を用いた中耳手術、副鼻腔手術、咽頭、喉頭手術を行っており、令和2年1月から始まった鼻科手術認可制度での認可施設を認定されています。また、日本耳鼻咽喉科学会、日本アレルギー学会、日本気管食道科学会の専門医認定施設にも認定されています。

TOPICS

嗅覚障害に対する先進的医療の取り組み

嗅覚障害は、日常生活にさまざまな影響をおよぼし、生活の質の低下を招くとともに、認知症やフレイルとの関連も指摘されています。当科では、嗅覚障害の原因を診断し、原因に応じた先進的な医療を展開しています。

- ・ **好酸球性副鼻腔炎**:従来のステロイド療法、内視鏡下副鼻腔手術に加え、**生物学的製剤**を用いた治療により高い改善率と満足度を得ています。
- ・ **感冒後嗅覚障害**:漢方治療に加え、**嗅覚刺激療法**(嗅覚トレーニング)の指導を行い、良好な改善率を得ています。
- ・ **新型コロナウイルス感染症(COVID-19)**:COVID-19では嗅覚障害が出現します。当科では嗅覚障害の後遺症に対する診断と治療を行っています。
- ・ **アルツハイマー病の早期発見**:アルツハイマー病では早期に嗅覚障害が出現します。早期の軽度認知障害で発見できればアルツハイマー病への進行を予防できます。当科では原因のわからない嗅覚障害患者さんに対してMRIを用いるとともに、認知症センターと連携してアルツハイマー病の早期発見に努めています。

電話連絡先
内線/外来受付
医 局

076-286-3511 (代表)
37250・37251・37252
33426

責任者と診療スタッフ



科長/教授 | ミツノ タカキ
三輪 高喜

専門分野 | 耳鼻咽喉科全般、嗅覚障害、鼻アレルギー、副鼻腔炎、味覚障害

学 歴 | 富山医科薬科大学医学部医学科卒、金沢大学大学院医学系研究科修了

職 歴 | 金沢大学助手(1990)、金沢大学准教授(1997)、米国・バージニア州立大学客員教授(1998)、金沢医科大学教授(2009-)、金沢医科大学副院長(2015-2017)、金沢医科大学副学長(2016-)

嗅覚障害をはじめ、耳鼻咽喉科の病気は他人からも時には自分自身も気づかない事が多く、気づいたときには重症となっている方も少なくありません。少しでもおかしいなと感じたら、気おくれることなく近くの耳鼻咽喉科の先生に診ていただき、当科を紹介してもらってください。あきらめていた病気が案外、早く簡単に治ることもよくあります。



准教授 医局長
シガ ヒデアキ
志賀 英明

【専門分野】
鼻副鼻腔疾患、嗅覚障害、スポーツ医学



准教授
マサヒト
坪田 雅仁

【専門分野】
めまい疾患



講師 病棟医長
ヤマモト ジュンペイ
山本 純平

【専門分野】
味覚障害、嚥下障害



医師 外来医長
キノシタ ユウコ
木下 裕子

【専門分野】
小児難聴

担当医師名	役職	専門分野
ヤオ トオル 八尾 亨	講師	中耳疾患、鼻副鼻腔疾患
サイイ あや 酒井 あや	講師	睡眠時無呼吸症、耳鼻科一般
ナカムラ ユカリ 中村 有加里	医師	耳鼻科一般
イシクラ トモコ 石倉 友子	医師	耳鼻科一般
サエキ シズカ 佐伯 静華	医師	耳鼻科一般
カノウ ワタル 加納 恒	医師	耳鼻科一般
ミナト リホ 湊 梨穂	医師	耳鼻科一般

- 1 循環器内科
- 2 心血管カテーテル治療科
- 3 心臓血管外科
- 4 末梢血管外科
- 5 小児心臓血管外科
- 6 呼吸器内科
- 7 呼吸器外科
- 8 消化器内科(肝胆膵・消化管)
- 9 一般・消化器外科
- 10 乳腺・内分泌外科
- 11 腎臓内科
- 12 泌尿器科
- 13 糖尿病・内分泌内科
- 14 血液・リウマチ膠原病科
- 15 脳神経内科
- 16 脳神経外科
- 17 腫瘍内科
- 18 高齢医学科
- 19 小児科
- 20 小児外科
- 21 神経科精神科
- 22 心身医学科
- 23 放射線科
- 24 放射線治療科
- 25 整形外科
- 26 形成外科
- 27 眼科
- 28 耳鼻咽喉科
- 29 頭頸部・甲状腺外科
- 30 皮膚科
- 31 産科婦人科
- 32 麻酔科
- 33 リハビリテーション医学科
- 34 救命救急科
- 35 病理診断科
- 36 感染症科
- 37 歯科口腔科
- 38 健康管理センター
- 39 認知症センター
- 40 摂食・嚥下センター
- 41 小児高度外科医療センター
- 42 集学的がん治療センター
- 43 総合診療センター
- 44 睡眠医学センター
- 45 女性総合医療センター
- 46 再生医療センター
- 47 ゲノム医療センター